

プログラミング

教科	商業	単位数	4	学科・学年	総合ビジネス科2年生 (情報コース)
使用教科書	プログラミングCOBOL (実教)	副教材等	学習と検定	全商情報処理検定問題集1級・2級	

◇ 学習の到達目標 ◇

- 1 コンピュータを使ったデータ処理の仕組みについて理解させる。
- 2 プログラミングに関する知識と技術を習得させる。
- 3 体験的学習を通して創造力や論理的な思考力を育成する。
- 4 ビジネスの諸活動において、情報を合理的に処理しコンピュータを効果的に活用する能力と態度を育む。

◇ 科目の特色 ◇

- 1 プログラム言語の特徴を理解し、データ処理に必要な一連のプログラミング手順を学習します。
- 2 情報処理の資格取得に向けた内容について学習します。

◇ 学習の計画 ◇

月	単 元 名	主 な 学 習 活 動
4 6	1 コンピュータとプログラミング 2 プログラミングの手順 3 プログラミングの基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラムの基礎的・基本的な技法を身につけるとともに、ビジネスの諸活動におけるプログラミングの意義について考察を深める。 <p style="text-align: right;">【前期中間考査】</p>
7 9	4 報告書の作成 5 テーブルの利用	<ul style="list-style-type: none"> ・見やすく分かりやすいプログラムを作成する意義を理解し、各種の応用的なプログラミング技法を身につける。 ・テーブルを利用した各種のプログラミング技法を身につけるとともに、テーブルの有用性について考察を深める。 <p style="text-align: right;">【前期期末考査】</p>
10 12	6 ファイル処理 7 イベント駆動型プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ・ファイル処理の各種技法を身につけるとともに、発生したデータがファイルに集められ処理されていく過程について理解する。 ・視覚効果に富みヒューマンインターフェイスを重視した、ビジュアルで新しいプログラム言語について理解する。 <p style="text-align: right;">【後期中間考査】</p>
1 2	8 ハードウェア・ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータの利用にあたって、必要なハードウェアとソフトウェアに関する知識を身につける。 <p style="text-align: right;">【後期期末考査】</p>

◇ 評価の観点・方法 ◇

評価は、次の四つの観点から行います。

関心・意欲・態度	コンピュータを使った情報処理の仕組みとプログラミングについて関心を持ち、学習に自分からすすんで取り組むことができる。
思考・判断・表現	プログラミングに関する基礎的・基本的な知識と技術を活用して、効率的なプログラムを作成するために、様々な角度から考察することができる。
技能	基礎的なプログラムを作成できるとともに、応用的な技術をさらにすすんで活用することができる。
知識・理解	プログラミングに関する基礎的・基本的な知識と技術を身に付け、ビジネスの諸活動に関する情報を合理的に処理し、活用する方法を理解している。

このため、具体的には次のものを対象とします。

- ①授業中における学習態度 ②問題集やノートなどの提出物 ③定期考査
④検定試験 ⑤休暇中の課題と課題テスト

また1年間の評定は、前期・後期の年間を通して、上記の内容を総合的に判断して決めます。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

アルゴリズムやプログラム言語の基礎的・基本的な技法を身につけ、情報処理検定の合格を目指します。